



平成31年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年11月12日

上場会社名 株式会社 鳥羽洋行
コード番号 7472 URL <http://www.toba.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 鳥羽 重良

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 松永 健一

TEL 03-3944-4031

四半期報告書提出予定日 平成30年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	14,370	3.2	969	12.2	1,028	11.7	709	12.1
30年3月期第2四半期	13,921	32.1	864	86.1	920	82.2	632	86.8

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 610百万円 (36.2%) 30年3月期第2四半期 957百万円 (286.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	164.29	
30年3月期第2四半期	146.68	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	26,170	16,603	63.4
30年3月期	25,813	16,469	63.8

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 16,603百万円 30年3月期 16,469百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		110.00	110.00
31年3月期		0.00			
31年3月期(予想)				110.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,000	1.8	1,740	2.0	1,850	1.3	1,250	2.1	289.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	5,000,000 株	30年3月期	5,000,000 株
期末自己株式数	31年3月期2Q	682,876 株	30年3月期	682,876 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	4,317,124 株	30年3月期2Q	4,315,226 株

(注)「従業員向け株式交付信託」が保有する当社株式を自己株式に含めて記載しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、平成30年11月27日にアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、米国の保護主義的な通商政策が世界経済を減速させると不安視されましたが、米国及び欧州ともに安定した労働市場等を背景に好調に推移し、最も不安視された中国もほぼ堅調を維持しました。また、わが国経済は企業業績の伸長を背景にした好調な設備投資に支えられて、緩やかな回復基調で推移しました。

このような経済状況の下で、当社グループはスマートフォンの高機能化のための設備投資需要が続く電子部品や精密機器に関連する業界、電動化並びに安全運転機能装備のための開発が進む自動車・車載部品に関連する業界、及びIoT（モノのインターネット）の進展による需要が続く半導体・半導体製造装置に関連する業界等の得意先を中心に制御機器、FA機器、及び産業機器の販売推進を積極的に行いました。

以上の結果、売上高は143億70百万円(前年同四半期比3.2%増)、営業利益は9億69百万円(前年同四半期比12.2%増)、経常利益は10億28百万円(前年同四半期比11.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億9百万円(前年同四半期比12.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末比0.4ポイント減の63.4%となりました。

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して3億57百万円(1.4%)増の261億70百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末比4億66百万円(2.2%)増の212億75百万円となりましたが、現金及び預金の増加(4億37百万円)、受取手形及び売掛金の増加(5億57百万円)と電子記録債権の減少(5億7百万円)が主な要因となっております。

固定資産は、前連結会計年度末比1億9百万円(2.2%)減の48億95百万円となりましたが、投資その他の資産の減少(1億2百万円)が主な要因となっております。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比較して2億23百万円(2.4%)増の95億67百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末比2億50百万円(2.8%)増の91億56百万円となりましたが、電子記録債務の増加(8億96百万円)と支払手形及び買掛金の減少(5億84百万円)が主な要因となっております。

固定負債は、前連結会計年度末比27百万円(6.3%)減の4億10百万円であり、特記すべき事項はありません。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上(7億9百万円)による増加や、前期決算の剰余金の配当(4億76百万円)による減少などにより、前連結会計年度末と比べ1億34百万円(0.8%)増の166億3百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、94億68百万円と前連結会計年度末に比べ4億37百万円(4.8%)の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により得られた資金は、8億97百万円となりました。資金の主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益の計上(10億28百万円)や仕入債務の増加(3億28百万円)であり、資金の主な減少要因は、売上債権の増加(84百万円)や法人税等の支払(4億4百万円)であります。

なお、前年同四半期につきましては、税金等調整前四半期純利益の計上(9億20百万円)や仕入債務の増加(16億57百万円)などの資金の増加要因と、売上債権の増加(26億54百万円)や法人税等の支払(1億39百万円)などの資金の減少要因があったため、6億87百万円の資金流出でありました。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により使用した資金は、22百万円となりました。資金の主な減少要因は、無形固定資産の取得による支出(11百万円)であります。

なお、前年同四半期につきましては、定期預金の払戻による収入(5億円)などの資金の増加要因があったため、5億9百万円の資金流入でありました。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により使用した資金は、4億33百万円となりました。資金の増加要因は、短期借入金(42百万円)であり、資金の減少要因は、配当金の支払額(4億76百万円)であります。

なお、前年同四半期につきましては、短期借入金(3億67百万円)の資金の増加要因と配当金の支払額(2億81百万円)などの資金の減少要因があったため、85百万円の資金流入でありました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の通期の業績予想につきましては、平成30年5月10日付の当社「平成30年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において発表しました業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績は様々な要因により予想値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,532,056	9,969,464
受取手形及び売掛金	7,998,113	8,555,855
電子記録債権	3,058,156	2,550,714
商品	133,567	128,969
その他	87,048	70,910
流動資産合計	20,808,942	21,275,914
固定資産		
有形固定資産	2,010,076	1,996,894
無形固定資産	34,464	40,797
投資その他の資産	2,959,912	2,857,332
固定資産合計	5,004,454	4,895,024
資産合計	25,813,396	26,170,939
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,254,690	2,670,352
電子記録債務	4,815,536	5,712,166
短期借入金	-	41,725
未払法人税等	415,079	321,004
引当金	181,808	135,000
その他	238,779	276,551
流動負債合計	8,905,894	9,156,800
固定負債		
引当金	27,656	30,789
その他	410,531	379,731
固定負債合計	438,187	410,520
負債合計	9,344,082	9,567,321
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,148,000	1,148,000
資本剰余金	1,097,245	1,097,245
利益剰余金	14,452,894	14,685,526
自己株式	△1,239,428	△1,239,428
株主資本合計	15,458,711	15,691,342
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	916,833	840,298
為替換算調整勘定	93,769	71,976
その他の包括利益累計額合計	1,010,603	912,275
純資産合計	16,469,314	16,603,618
負債純資産合計	25,813,396	26,170,939

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	13,921,021	14,370,691
売上原価	11,962,743	12,265,127
売上総利益	1,958,277	2,105,563
販売費及び一般管理費	1,094,021	1,135,596
営業利益	864,255	969,967
営業外収益		
受取利息	2,091	2,078
受取配当金	16,597	21,481
仕入割引	30,590	25,273
その他	10,738	12,279
営業外収益合計	60,018	61,111
営業外費用		
支払利息	2,405	431
売上割引	832	939
為替差損	-	1,094
その他	168	202
営業外費用合計	3,406	2,667
経常利益	920,867	1,028,411
特別損失		
固定資産廃棄損	-	294
特別損失合計	-	294
税金等調整前四半期純利益	920,867	1,028,117
法人税、住民税及び事業税	298,350	314,729
法人税等調整額	△10,435	4,134
法人税等合計	287,915	318,864
四半期純利益	632,952	709,253
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	632,952	709,253

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	632,952	709,253
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	330,412	△76,535
為替換算調整勘定	△5,996	△21,792
その他の包括利益合計	324,416	△98,327
四半期包括利益	957,368	610,925
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	957,368	610,925
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	920,867	1,028,117
減価償却費	40,737	21,663
貸倒引当金の増減額(△は減少)	81	-
賞与引当金の増減額(△は減少)	△789	△6,808
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△26,000	△40,000
株式給付引当金の増減額(△は減少)	△3,161	3,132
受取利息及び受取配当金	△18,688	△23,559
支払利息	2,405	431
売上債権の増減額(△は増加)	△2,654,131	△84,828
たな卸資産の増減額(△は増加)	△62,591	3,447
仕入債務の増減額(△は減少)	1,657,002	328,122
その他	△422,326	49,244
小計	△566,596	1,278,963
利息及び配当金の受取額	19,708	23,521
利息の支払額	△1,021	△431
法人税等の支払額	△139,446	△404,127
営業活動によるキャッシュ・フロー	△687,354	897,926
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△500	△500
定期預金の払戻による収入	500,500	500
有形固定資産の取得による支出	△10,134	△4,314
無形固定資産の取得による支出	-	△11,092
投資有価証券の取得による支出	△6,424	△7,443
関係会社貸付金の回収による収入	26,240	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	509,681	△22,849
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	367,650	42,750
自己株式の取得による支出	△172	-
配当金の支払額	△281,645	△476,621
財務活動によるキャッシュ・フロー	85,832	△433,871
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,988	△3,797
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△94,829	437,407
現金及び現金同等物の期首残高	8,426,244	9,031,556
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,331,415	9,468,964

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)

該当事項はありません。